

～レースレポート GR86/BRZ Cup～ 第2大会 SUGO



GR TOYOTA GAZOO Racing **GR86/BRZ Cup**

2026/5/17(日)

SUGO

竹村・岡崎ともに確かな手応えを感じた第2戦

(宮城県村田町)

■ 大会概要

日程: 2026/5/17(日)

場所: スポーツランド SUGO(宮城県村田町)

1周 3,586km, 10周

決勝: 晴れ/ドライ

■ 予選結果

プロフェッショナルシリーズ: 11位

竹村寛成選手

クラブマンシリーズ: 8位

岡崎善衛選手

■ 決勝結果

プロフェッショナルシリーズ: 26位

竹村寛成選手

クラブマンシリーズ: 10位

岡崎善衛選手

プロフェッショナルシリーズ

20	76	森川 基雄	GR86	ウニシガ 制動屋NUTEGR86	13	21' 40.864	30.685	129.028	1' 38.095
21	225	富下 幸央菜	GR86	KTMS GR86	13	21' 42.606	32.427	128.856	1' 38.574
22	87	伊藤 奨	BRZ	千葉スバル SDA BS BRZ	13	21' 43.473	33.294	128.770	1' 38.358
23	8	渡辺 圭一	GR86	ジェイシーエスGR浦和英園 GR86	13	21' 43.888	33.709	128.729	1' 38.021
24	88	伊藤 和広	BRZ	東京スバル SDA BS BRZ	13	21' 44.484	34.305	128.670	1' 38.374
25	※3 708	丸山 陽平	GR86	エフエスエーEXEDY-DL GR86	13	21' 48.293	38.114	128.296	1' 37.352
26	※4 990	竹村 寛成	GR86	GLW Racing クロケットGR86	13	21' 48.454	38.275	128.280	1' 37.241
27	141	石井 和仁	GR86	ネック千葉スバル7GR86	13	21' 50.817	40.638	128.049	1' 38.939

クラブマンシリーズ

6	370	中村 賢明	GR86	HIROSHIMA+ GR86	13	22' 20.670	9.031	125.197	1' 41.359	2
7	28	伊藤 幸佑	GR86	FELIX MS 情シマン GR86	13	22' 20.943	9.304	125.172	1' 41.853	2
8	※6 310	岡田 友輔	GR86	CSI Racing GR86	13	22' 22.417	10.778	125.034	1' 41.363	4
9	※4 36	島 拓海	GR86	HC RACING ML WW GR86	13	22' 25.390	13.751	124.758	1' 41.106	3
10	393	岡崎 善衛	GR86	GLW Racing 2nd GR86	13	22' 25.593	13.954	124.739	1' 42.139	3
11	23	YOSHIKI	GR86	N-SPEED GR86	13	22' 26.114	14.475	124.691	1' 41.648	4

ダイジェスト

今シーズン GLW Racing Team は創業 5 年目にして初めて GR86/BRZ Cup に参戦。

新卒社員として 2026 年 4 月 1 日に入社したばかりの竹村寛成(990 号車)がプロフェッショナルシリーズに、GLW の GR 車両開発部マネージャー兼エースドライバーの岡崎善衛(393 号車)がクラブマンシリーズに挑む。竹村寛成は前戦のオートポリスでプロドライバー達と初めて対峙した際の悔しさをバネに好順位を狙う。岡崎善衛は前戦では予選で苦戦した点を修正し、シングルフィニッシュに手を届かせたい。



曇天の SUGO に悩まされる GLW チームのメンバー

【スポーツ走行(ドライ)】

竹村・岡崎の両ドライバーはメカニックやエンジニアとともに 5/14(木)から SUGO 入り。

この日は予報に反して曇天。雨は降らずトラックは綺麗で路面温度も低くタイムが出やすい環境。ただし土日は快晴で気温が上がることで予想されるため、セッティングが難しい状況。前の週に一度練習で訪れたが、各 3 セッションずつ占有で走れるこのスポーツ走行でも国内最大級の大きな高低差やテクニカルな連続コーナーなど、コースを理解するのに役立てたいところ。

岡崎はまだクルマの理解が進んでいないため、プリを掛けたり抜いたり減衰を掛けたり抜いたり、試行錯誤が続く中、セッションごとに 0.5 秒ずつタイムアップしていく。

対する竹村は週末に気温路温が上がる前提で予選決勝想定 of セッティングの煮詰めが続く。タイムは想定よりも低く出ているが修正できるかが今後の鍵となる模様だ。



限られた占有走行でセッティングを確認する竹村選手

【占有走行(ドライ)】

翌日の 5/15(金)は予報通り朝から快晴。ただし気温はそれほど上昇しない。

併催レースとの兼ね合い上 1 本ずつのみのセッションだった。岡崎は前日からのセッティングの試行錯誤を継続しており、決めたセットで 1 分 39 秒台を目指す。結果 1'40.464 がベストタ

イムでトップとは 1.311 秒差の 13 位。一発で決めきれず悩みは深まる一方のセッションとなった。

竹村は予選想定 of NEW タイヤで臨み、1 周目に 1'35.739 を記録。ターゲットには届かなかったが方向性を確認できた。なお小林利徠斗選手が唯一の 34 秒台をたたき出し、本セッショントップだった。



いち早く予選アタックに入る岡崎選手

【予選(ドライ)】

予報通りの快晴で前日までの寒さを全く感じさせない初夏並みの陽気となり、予選スタートが13:30からということもあり気温も路温もぐんぐん上昇。

クラブマンの岡崎はレースウィーク一貫してタイムの最大化よりも自分のベストを更新することに注力。路面改善やスリップを考慮せず一番初めに出走することを選択し、先頭でスタート。果敢にアタックを慣行したが、タイムは1'40.279で残念ながら目標の39秒台に届かず。

ところが残り時間11:53時点で赤旗が発生。コースの約1/3にオイルが撒き散らされコースコンディションが大幅に悪化し、岡崎が一時4番手となる。

S4降水量 S2降水量		2026 SUGO Champion Cup Race Round 2										風速 外気温		
00 00		TOYOTA GAZOO Racing GR86/BRZ Cup 2026 CLUBMAN Series 第2大会 公式予選										20.22		
Pos	No.	Class	Name	Lap	LastLap	BestLap	2ndLap	Behind	S1	S2	S3	S4	TopSpeed	Pit
1	310		岡田 友輔	1/ 2	1'43"053	P 1'39"799			25"387	28"615	21"934	27"117	181.513	1
2	370		中村 翼明	1/ 2	2'06"114	P 1'39"896		0"097	25"414	35"316	28"610	36"774	131.707	1
3	338		Mitchell Cheah	1/ 3	2'02"384	P 1'39"913		0"114	28"840	33"845	27"746	31"953	123.007	1
4	393		岡崎 善尚	1/ 2	1'48"244	P 1'40"279		0"480	28"751	30"690	22"522	26"281	176.759	1
5	777		山崎 武司	1/ 2	1'54"160	P 1'40"997		1"198	26"802	35"013	24"756	27"589	105.986	1
6	96		黒岩 唯	1/ 2	1'42"927	P 1'41"546		1"747	26"010	29"579	22"471	24"867	181.818	1
7	840		久野 貴大	1/ 2	2'02"185	P 1'41"716		1"917	28"230	34"796	27"597	31"562	102.370	1
8	290		久野 桐馬	1/ 2	2'03"903	P 1'41"740		1"941	27"598	31"755	27"590	36"960	150.838	1
9	611		三浦 陽貴	1/ 2	1'53"988	P 1'42"077		2"278	26"198	29"211	25"267	33"312	180.905	1
10	960		黒原 崇止	1/ 2	1'43"855	P 1'42"132	1'43"855	2"333	26"167	29"914	22"749	25"374	181.208	1
				----- 現在時刻 13:40:17 -----				残り時間 11:53 -----						
11	197		藤井 涼人	2/ 3	1'55"116	P 1'42"346	1'42"723	2"547	27"174	35"513	23"821	28"608	136.364	1
12	808		上杉 裕之	1/ 3	2'08"965	P 1'42"388	1'42"630	2"589	28"516	37"265	28"041	35"143	101.124	1
13	59		下藤 利哉	2/ 3	2'07"493	P 1'42"432	1'42"935	2"633	28"512	36"711	28"615	33"655	105.572	1
14	538		小嶋 淳平	1/ 3	1'55"612	P 1'42"545	1'43"438	2"746	26"843	30"866	25"120	32"783	177.340	1

一時4位に踊り出る岡崎選手

しかしながら有力選手はコンディション悪化をものともせず次々と39秒台を獲得。結果としてトップと0.498差の8位となった。

プロクラスは元々14:10から予選だったもののクラブマンの赤旗の影響で16:00からの予選開始となった。気温、路温とも下降をはじめ、より難しい環境に。

竹村はプロクラス2戦目となり王道の出走を遅らせる作戦に。20台以上がアタックを終了させた残り1分強の時点で1'35.222と9番手。

最終アタック組2台に抜かれるもトップと0.557秒差の11番手につけた。完全なイコールコンディション下でのグリッド獲得で、決勝でのプロドライバーの追い上げが怖いポジションであるものの、クルマもドライバーもプロクラスで十分通用することを印象付けた。



【決勝(ドライ)】

天候は再び快晴で前日よりさらに暑い。暑熱順化もままならない5月の陽気に対応できるかも鍵となりそうだ。

クラブマンの岡崎はクルマの理解をより深める場と割り切り、予選から変更なしで挑む。

スタートを見事に決め7番手に浮上、もその後はじりじりと上位陣から離される辛い展開に。

曲がらないクルマで全てのコーナーで後ろから煽られる展開が続く。特に最終コーナーからの立ち上がりはトラクションを掛けられるタイミングがワンテンポ遅く、ほとんどの周回において1コー

ナーで並ばれる展開に。終始「無理にブロックせず、無理にアタ

ックせず」の方針を貫き、ペースは圧倒的に遅いものの相応にレースをコントロールし周回を重ねていく。

結果計4台に抜かれ11番手でフィニッシュ。現状のクルマ相当の着順となった。

レース終了後、上位車両に4脱ペナルティ車両があり正式結果は10位。

結果論としてレース後ペナルティが続出しており、その意味でも抑制した走りは好結果を生み出した。

岡崎は参戦2戦目で初ポイントとなり、予選も決勝も幸運をひき寄せた形となった。

続けてプロクラスの竹村。14:04 スタート進行と気温はピーク。決勝ペースはBS勢が若干有利かと思われる。

11番グリッドからスタートするもやはりプロの圧は強い。ペースは遜色ないが複数のプロからのアタックを受け1周目終了時点で14位に後退。

上位陣が落ち着いても中盤以降はバトルが続く。

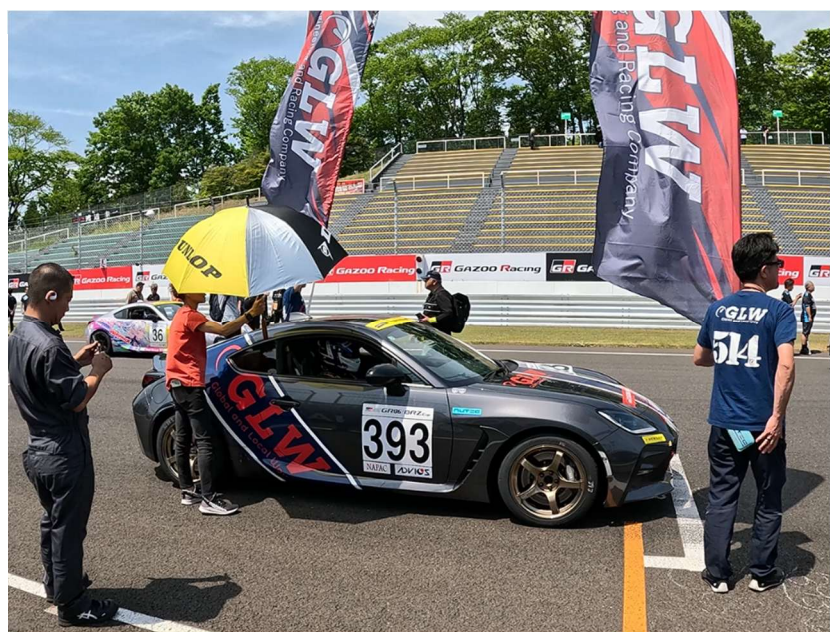
3周目に一時13位に浮上するが、その後4コーナーの進入で小林選手の見事なパッシング、真後ろを走っていた佐藤選手にも抜かれることで15

位となった。

そこからも常に前後からのプレッシャーを受けながら耐えきり、順位をキープして15位フィニッシュ。

チェッカー後6台の車両に走路外走行のペナルティが発出され、竹村も20秒ペナルティ、正式結果は26位となった。

ペース的には十分戦えることは分かったが、レース中常にさらされるプロからのプレッシャーを跳ね除け、隙あらばアタックするバトル力向上が課題として明確になったレースとなった。



決勝の8番グリッドに着く岡崎選手



多くのプロドライバーを押しつけて11番グリッドからスタートする竹村選手

【ドライバーコメント】

岡崎善衛選手：前回13位と言う結果だったので、今回の目標はポイント獲得でした。

木曜から金曜にかけてタイムは上り調子でしたが、車の挙動として終始アンダーで、なかなか満足するところまでいきませんでした。ただ予選に向けては上手くハマれば行けそうな手応えも感じていました。

予選では集団の影響を受けず自分の走りに集中するため、オープンと同時に先頭でコースイン。満足の行くアタックではなかったですが、これまでの自己ベストは更新しました。結果8位で予選を終えられたのは好材料でした。

決勝ではスタートをそこそこ決められ、2コーナーまでに1台パス。その後は後ろから迫られる苦しい展開でした。アンダーが強くバトルには厳しい車でした。最終的には4台に抜かれ11位でフィニッシュ。ただ前の車両のペナルティにより正式結果は10位となり辛くもポイントを取ることができました。

次回はもっと上を目指し、ランキングを意識できる位置でレースしたいです。

竹村寛成選手：練習走行でセットアップを詰めて行く中では、同タイヤメーカーのトップ選手にはとても敵わないタイムしか出ず、正解の出ない日が続きました。そんな中予選では微妙な流れを切るような一発タイムを出すことが出来、ひとまずポイント獲得まであと一步のところまで来られた安心感をえました。

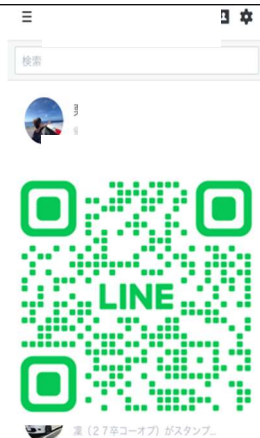
決勝はDL(ダンロップ)勢のペースが落ちることを見込んで中盤～後半戦に持ち込む算段でしたがブロックをこじ開けられず、ペースはあったものの後方に吞まれてしまいました。

前大会から予選一発の速さを高める練習をしてきたので、その結果がこうしてリザルトに残ったのが嬉しいところです。その反面決勝ではプロ選手との戦いで自分の引き出しの少なさに未熟さを感じたので、その点を次戦に向けて改善していきます。トラックリミットにも気を付けます。

各種 SNS やってます！

公式 LINE

候補者との主要連絡手段



YouTube

日本語 8 割・英語 1 割・ベトナム語 1 割



X

主にレースについて発信



Linkedin

海外向け情報発信・採用



Instagram

リール投稿してます！



GLW について

GLW は、モビリティ業界において自動車専門技術サービスを提供するビジネスソリューション企業です。

社員一人ひとりの持つ技術力を武器に、受託開発や技術コンサルティング、エンジニア派遣サービスを展開しています。創業5年目の若い会社ですが、社員数は既に130人を超えており、日本中の自動車メーカーおよびサプライヤーの設計開発業務を支えています。

社員構成上の特徴は、外国籍社員の割合が7割以上である点です。豊かなダイバーシティと技術力の掛け算で、日本のモビリティ業界を変革に導きます。

GLW Racing Team は社員チームに拘り、モータースポーツと設計の良いフィードバックループを生み出し、もっと良いクルマづくりに貢献します。今シーズンはGR86/BRZ Cup、TOYOTA GAZOO Racing Rally Challenge に参戦します。

<メディアからのお問合せ先>

株式会社 GLW 海外戦略部/人事部 シニアリーダー 杉浦 真吾

TEL: [045-900-8393](tel:045-900-8393) E-mail: newg-recruit@glw.co.jp

